

教職実践演習（養護教諭）	4年・後期	2単位	教授 佐光 恵子
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	36511344

1. 授業のねらい・概要

養護教諭に求められる専門的知識や指導技術及び、教員・養護教諭としての人間的な資質能力や教職教養等を確認する。

2. 学修の到達目標

- 履修者の履修履歴を踏まえ、教員・養護教諭に必要とされる知識・技能および資質能力を修得したことを確認する。
- 本学の教員養成の理念に基づき、養護教諭として相応しい人間性を涵養する。
- 生徒・教員・地域の関係者や保護者との人間関係の形成力、集団における協調性・調整能力の育成を図る。

3. 授業の進め方

養護実習での授業参与観察および指導経験をもとに、「学校保健及び学校安全に資する力」、「児童生徒理解や保健室経営に資する力」、「社会性を構築したり人間関係を形成したりする力」について、主として実習体験に即して事例研究を行い、プレゼン・ディスカッションを通して経験の共有化・深化を図る。

4. 授業計画（演習）

1. オリエンテーション（活動内容の確認と授業計画） 2. 教職課程における学修の意義とその振り返り 3. 保健教育の実践と養護教諭に求められる役割 4. 保健室実践の意義とその進め方の検討 5. 養護教諭による教育実践の本質・構造・領域の整理 6. 学校保健及び学校安全活動の確認 7. 児童生徒一人ひとりの理解と実態把握 8. 児童生徒一人ひとりと学級集団との関わりあいを生かした保健室経	9. 児童生徒理解と保健室経営上の課題とその対応 10. 個と集団の関わりを生かした児童生徒理解と保健室経営 11. 学校組織における社会性や人間関係形成能力 12. 家庭・地域と築く社会性や人間関係調整能力 13. 社会性の構築や人間関係形成力の獲得へ向けた学修成果の実践と振り返り 14. 養護教諭に必要とされる社会性や調整能力 15. 養護教諭に必要とされる資質能力とまとめ
---	--

5. 成績評価の方法・基準

体験発表，グループ討論，ロールプレイング，課題レポート等の学修成果をふまえ、養護教諭としての資質能力等について確認し、単位認定を行う。

課題レポート（50%），および発表の内容・態度（50%）をもとに総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：なし

参考文献：なし

教職課程の諸講義・実習で使用したテキストや配布資料については持参すること。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

本学の教職課程における諸講義で使用してきたテキスト，講義要旨，配布プリントについて確認しておくこと。

8. 受講上の留意事項

明確な目的意識を持ち、教職に就くことを強く志望し、職業倫理を自覚する学生の受講を望みます。

9. 課題に対するフィードバックの方法

各種発表，課題レポートに対して、適宜，指導・コメントする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

教職の必修科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

群馬県下の公立学校の養護教諭，及び群馬県教育委員会指導主事の実務経験を活かして，講義等を行う。